

(2) きのかなどの特用林産物の振興



現状と課題

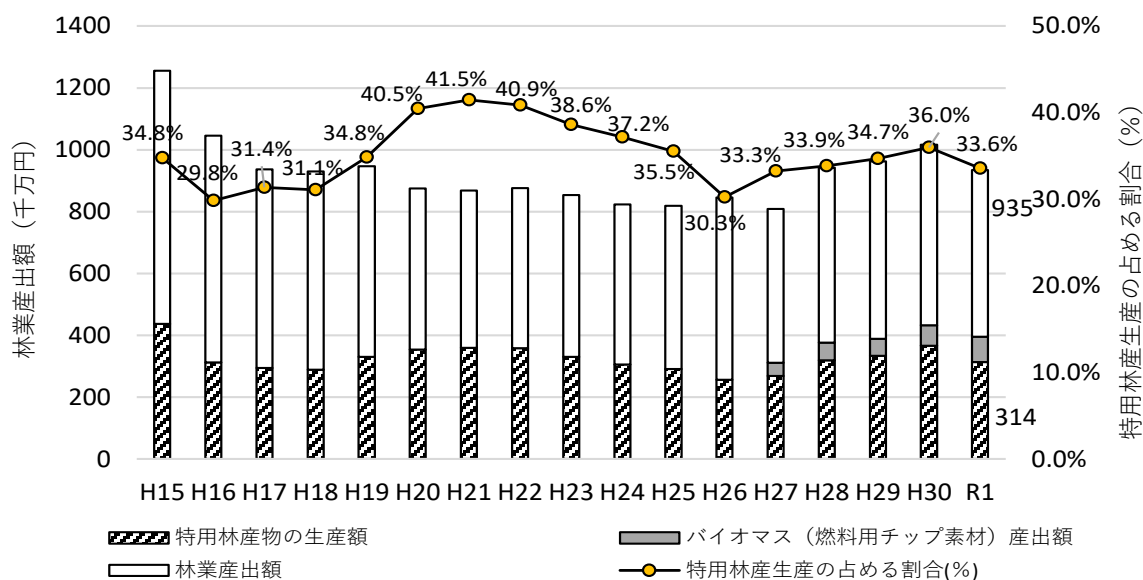
本県の特用林産物の生産額は、林業産出額の約3割を占める山村地域の貴重な収入源です。特にきのか類は生産資材に木材（主に広葉樹）を利用することから、広葉樹材の主要な需要先になっています。

しかし、東日本大震災による原発事故の発生以降、原木や菌床栽培用のオガコ等の生産資材の供給不安や単価高騰が進み、原木の需給バランスが崩れつつあります。加えて、県内の原木供給者は高齢化しており、広葉樹資源の把握や原木供給の新たな担い手の確保が必要です。

本県のきのか生産者は減少傾向にあり、販売価格の低迷、消費量の伸び悩みといった課題もあるため、新規生産者の確保と既存生産者へのサポートの強化や、安全、安心、高品質なきのか類の生産支援、大都市圏や海外へ向けた販路拡大に取り組む必要があります。

一方で、サンショウやコウゾ、木炭などのきのか類以外の特用林産物についても、生産技術の検証や生産施設の整備などを支援し、生産体制を強化する必要があります。

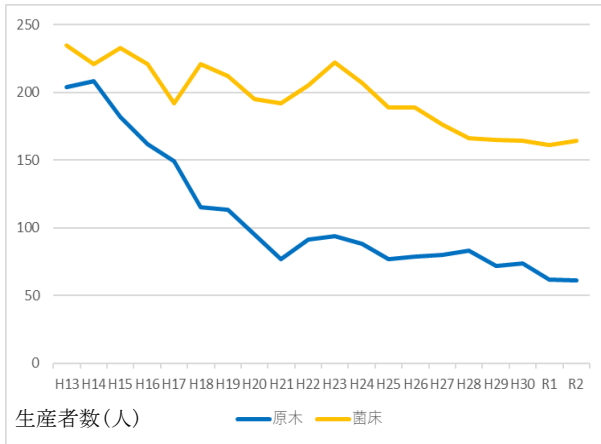
特用林産物の生産額の林業産出額に占める割合



※林業産出額には、H27以降バイオマス（燃料用チップ素材）産出額を含み算出。

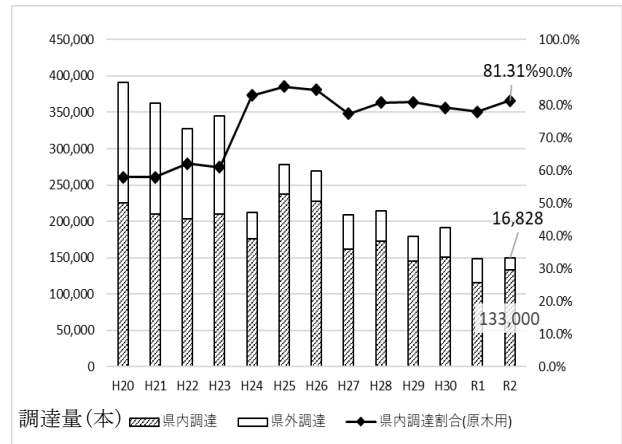
出典：農林水産省「林産産出額長期累年統計」

県内のしいたけ生産者数の推移



※しいたけ生産者は15年間で約6割減少  
出典：林野庁「特用林産物生産統計調査」

県内におけるきのこ生産に使用する原木調達量の推移



※きのこ原木調達本数は、東日本大震災（H23）を境に県外産が激減し不足  
出典：林野庁「特用林産物生産統計調査」

◇主な特用林産物（きのこ類、その他）の生産量の推移

単位：薪(千束、層積m<sup>3</sup>(R2のみ))、その他(t)

年次	しいたけ		ぶなしめじ	なめこ	まいたけ	ひらたけ	きくらげ	わさび(根茎)	くり	さんしょう	筍(マダケ・ハチク・モウソウ)	木炭	薪
	生	乾											
平成29年	2,163	5	858	424	21	5	3	1	163	19	59	647	448
平成30年	2,696	4	980	427	62	11	356	0	104	25	12	668	553
令和元年	2,425	4	1,037	528	55	6	303	1	139	17	45	660	564
令和2年	2,101	13	1,067	479	76	1	306	1	159	20	49	634	5,178

※木炭は、白炭、黒炭、竹炭、粉炭の計  
出典：林野庁「特用林産物生産統計調査」

施策の方向性

- ・きのこ類生産の基となる、原木・オガコの安定供給と価格の安定化に取り組みます。
- ・特用林産物に係る新規参入生産者への支援や、既存生産者へのサポート強化に取り組みます。
- ・安心・安全な特用林産物の生産を推進し、都市部や海外に向けた販路の拡大を支援します。

**具体的な施策**

**(a) きのこと生産資材の安定供給と生産者の負担軽減**

**新**きのこと原木の生産に適した広葉樹林を明確にするため、LPデータ\*や森林GIS\*を活用して広葉樹資源をデータ化し、きのこと生産者や原木生産者に提供します。

- ・県産のきのこと原木の供給を拡大するため、モデル林におけるきのこと原木の生産コストを検証し、低コスト原木生産システムを原木生産者に対し普及します。

**新**生産資材の安定供給を図るため、きのこと生産資材（原木・オガコ）を供給する資源林の整備を支援します。

- ・東日本大震災以降、価格が高騰しているきのこと生産資材の負担を軽減するため、県産のきのこと生産資材を購入する生産者を支援します。



林内での原木しいたけの栽培現場



きのこと原木の調達状況

**(b) きのこと生産の新規参入者、既存生産者への支援**

- ・原木きこの新規生産者の参入初期の経営を安定化させるため、新規生産者に給付金を支給します。

**拡**きのこと生産への新規参入や既存生産者の事業規模の拡大を促進するため、施設整備や遊休施設の活用に取り組む生産者を支援します。

- ・きのこと生産量の増加や品質の向上を図るため、気候変動に対応した栽培技術や農薬を使わない安全な虫害防除方法など、生産現場のニーズを捉えた技術を開発し、普及します。

**拡**きこの生産工程管理を強化し、消費者に対して安全性をPRするため、GAP\*等の認証取得や、認証取得に必要な施設整備を行う生産者を支援します。



菌床しいたけの栽培現場



菌床しいたけの栽培



原木しいたけ生産者によるぎふ清流GAP評価

**(c) きこの販路拡大への支援**

**新**きこの新たな販路を開拓するため、生産・流通事業者と、飲食店やホテル等の需要者とのビジネスマッチングを実施します。

**拡**きこの新たな販路を拡大するため、都市部で開催される展示・商談会へ出展する生産・流通事業者を支援します。

- ・きのこの大都市圏への販路拡大及び輸出促進のため、変色等を抑制し、長期間の保存が可能となる技術を開発し、普及します。
- ・きのこの調理方法等を幅広く普及し、消費拡大を図るため、消費宣伝活動や料理コンクール等の普及活動に取り組む団体を支援します。
- ・きのこの販路を拡大するため、輸出などに取り組む生産・流通事業者を支援します。



県産しいたけの消費宣伝活動



きのこ料理コンテスト作品

(d) きのこと類以外の特用林産物の振興

- ・高原山椒やコウゾなど岐阜県ならではの特徴ある特用樹等の生産を促進するため、育苗・生産等の技術を検証します。
- ・薪、木炭等の供給体制を強化するため、生産施設を導入する生産者を支援します。



高原山椒のコンテナ育苗

(e) 指導者の育成

- ・きのこ生産者からの相談に対応するため、きのこ生産の総合窓口である「キノコ振興センター」（森林文化アカデミー内に設置）における生産者への相談対応や技術普及体制を強化します。

**新**きのこ指導者（マッシュ・リーダー（仮称））を育成するため、県職員等がきのこについて学ぶ機会を設けます。

- ・きのこ生産に関する研究・普及を推進するため、拠点となる森林研究所の試験研究機能を強化します。

◇目標指標

項目	単位	基準値		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		基準年	数値					
GAP等実践者数 (きのこ)【累計】	経営体	R2年度	4	14	21	28	35	42